

シロアリの症状と工事に進む割合について

概要 : シロアリの活動が活発になる4月に寄せられた問い合わせ500件を調査し、ご相談内容記載の症状とシロアリ工事に進む率の相関関係を調査
調査時期: 2022年4月
調査対象: 弊社サイトに寄せられたご相談のうち500件

結果

	問い合わせ件数	施工しなかった件数	割合	施工した件数	割合
症状について記載がないご相談	264	98	37.1%	166	62.9%
症状について記載があるご相談	148	21	14.2%	127	85.8%
すでにシロアリ発生が確認されているご相談	88	9	10.2%	79	89.8%

症状がある相談の詳細

症状の内容	件数	施工しなかった件数	割合	施工した件数	割合
羽アリがいた、羽アリの痕跡があった	44	6	13.6%	38	86.4%
シロアリの実物	26	3	11.5%	23	88.5%
食害跡	19	2	10.5%	17	89.5%
シロアリの痕跡のようなもの	11	1	9.1%	10	90.9%
クロアリまたはシロアリに似た虫	10	1	10.0%	9	90.0%
床、クロスの変色感	10	1	10.0%	9	90.0%
きしみ	7	0	0.0%	7	100.0%
人に言われた	6	1	16.7%	5	83.3%
蟻道	4	0	0.0%	4	100.0%
腐食	3	2	66.7%	1	33.3%
近所で出た	3	1	33.3%	2	66.7%
柱の黒ずみ	2	0	0.0%	2	100.0%
外に木材	1	1	100.0%	0	0.0%
天井で音	1	1	100.0%	0	0.0%
ヒビ	1	1	100.0%	0	0.0%
合計	148	21	14.2%	127	85.8%

まとめ

お問い合わせのうち、相談時点ではシロアリの症状の記載はなかったが、その後シロアリ工事に進んだ割合は約 63%
症状の記載がありシロアリ工事に進んだ割合は約 86%となった。

また、症状が出ているご相談で多かった上位 3つは[羽アリがいる][シロアリの実物がある][シロアリに食害された痕がある]となり、
シロアリ工事をおこなう割合も 86~90%近くなった。

以上のことから、症状が確認されている場合は確認されていない場合よりシロアリ工事をに進む割合が高いといえる。